



# 第121回触媒化学研究センター談話会

---

**演 題：** ナノ材料：光機能材料としての展開  
- 従来からのナノ材料を新ナノテクに  
どう結びつけるのか

**講演者：** 和田 雄二 氏  
(大阪大学大学院工学研究科  
物質・生命工学専攻・助教授)

**日 時：** 2002年3月19日(火)  
15:00 - 16:30

**場 所：** 北海道大学理学部5号館205号室

**要 旨：** ナノテクノロジーの重要性が叫ばれる以前より、化学者は、ナノ材料を合成する手法を研究開発してきた。すでにその重要性が明確になっている光機能材料として光触媒を挙げることができる。しかし、新しいさらに広範な機能展開に関しては、まだ、手探り状態と言える。

演者らの研究グループでは、ナノ材料として、硫化亜鉛、硫化カドミウム、酸化チタン、ゼオライトの合成を、ソフト溶液プロセスと呼ばれるマイルドな条件下で行ってきた。本講演では、それらの合成手法と光機能材料として研究展開した例を挙げ、ナノ機能材料のこれからの行方を考えてみたい。

《連絡先》 北大触媒化学研究センター 触媒反応化学分野  
大谷文章 (011-706-3673・ohtani@cat.hokudai.ac.jp)